

## 広警察署による「SNS 防犯教室」

12月7日、本校では広警察署の巡査長をお招きし、「SNSの利用」をテーマとした防犯教室を実施しました。今回の防犯教室は、先日道徳の時間で学習した「情報モラル」の学びを深め、「SNSを正しく安全に利用するための知識と判断力」を身に付けることを目的に行われました。

導入では、生徒が「社会を明るくする運動」の作文コンテストで優秀賞を受賞した作品「画面の向こうにも人がいる」を紹介しました。この作文は、心無いコメントを見た経験から、SNS利用における大切な「心の約束」として、以下の3点を提案しています。

- 1 相手の目を見て直接言えるか考えること
- 2 相手の立場になって想像すること
- 3 よい言葉を増やすこと



生徒たちの仲間が考えたこの「心の約束」を土台としつつ、後半は広警察署の方から、自分たちの正しい心だけでは防ぎきれない「危険な落とし穴」について、専門的な知識と社会のルールに基づいた具体的なご指導をいただきました。生徒たちは、犯罪やトラブルの最前線で活動されている警察官の方からの話を真剣に聞き、SNSを賢く、強く使いこなすための「知識」と「判断力」という「武器」を身に付ける貴重な機会となりました。



- ・投稿ボタンを押す前に一息おいて
- ・インターネットは「あなただけの空間」ではありません
- ・あなたが拡散する情報にも責任を
- ・自分のことも、自分の情報も一番に考えて、大切に

